

「水とみどり」を誇る朝倉市小水力発電 導入可能性調査事業

朝倉市 環境課

【事業取り組みの背景】

- ・民間団体から市への事業協力依頼

＜依頼の趣旨＞

合併したものの、地域の活性化・観光資源の発掘が遅れていると思われるため、小水力事業が起爆剤になれば良いのだが、市も協力して頂けないだろうか。

- ・平成24年度から3カ年の予定で県の補助事業が創設されたこと。

【市のスタンス】

公共施設以外の新エネルギー導入については、原則、民間主導で行っていただきたい。

ただし、特段の場合は、別途協議を要するものとしたい。

事業内容

基本データに関する調査

朝倉市は、平成18年3月に1市2町が合併し、誕生しました。

①まず、朝倉市を3地域に分け、それぞれの地域毎に、初期調査として特定の河川、水路の賦存量の調査を行いました。

(3地域34ヶ所)

③上記のデータを基に、3地域における代表的なポイントにおいて地域の活性化や観光資源発掘等を勘案した導入推進の方針を検討しました。

調査を終えて、その後

3地域とは(旧甘木市、旧朝倉町、旧杷木町)

○ 旧甘木市

7月下旬に設備導入候補地において、地元懇談会(第1回)を実施しました。

○ 旧杷木町

民間有志の方が、水車小屋を自前製作し、発電の試みを行っています。(発電機の日安とするため。)

○ 旧朝倉町

上記の2地域と少し規模条件が異なるため、検討中です。

今後の予定と課題

【今後の予定】

各地域の地域活性化策(観光資源の発掘を含め)を取りまとめ、各地域に即した発電機種を導入するための、実施設計を行い、設備導入につなげていく予定です。

【課題】

民間主導で事業を実施していくため、設備導入(維持管理を含む。)に係る経費の調達の仕組みを構築することが課題となります。